

日本学術会議

高分子化学分科会（第25期・第1回）

議事要旨

日時：令和2年12月25日（土）12:30-13:30

場所：オンライン 会議

出席者：君塚信夫、菅裕明、秋吉一成、石原一彦、伊藤耕三、上垣外正己、岸村顕広、小林定之、佐々木園、高原 淳、竹岡裕子、藤田照典、丸山厚、三浦佳子、山子 茂、吉江尚子（敬称略）

欠席者：片岡一則、栗原和枝（敬称略）

議題および議事：

1. 役員を選出

- 高分子化学分科会の役員は、下記のように選出された。（敬称略）

委員長：吉江尚子

副委員長：丸山 厚

幹事：岸村顕広、山子 茂

2. 第24期活動報告

- 吉江第24期委員長より活動報告がなされた。
- 高原委員より、海洋プラスチックに関する報告書(RSC)の紹介があった。
- 高分子関連分野から、「ムーンショット型研究開発事業」に3名が採択されている。

3. 第25期の活動方針

- 吉江委員長より、昨年度は高分子研究100年の節目であり、今期は、今後100年にむけた長期的な視点での提案と活動を行うとの方針説明があった。
- 高分子とAI、ビッグデータとの関連について、委員より企業の現状について紹介され、それを元に、高分子化学分科会と高分子学会と連携し、高分子の階層構造、プロセッシング、物性との相関をどのように情報科学技術と融合させるか、企業からの視点を含めた議論をスタートする。
- 海洋プラスチックについては、継続審議とし、学会と連携したシンポジウムなどの「見える活動」にする。

4. その他

- 内容等について意見交換を行った。
- 今後は、メール会議、オンライン会議を進めていく。

以上